# 準備学習

　矢掛中学校では、見通しや興味を持って授業に取り組むために、事前に準備して授業に取り組む予習型の課題を「準備学習」と呼んでいます。定型的な課題ではなく、自分の興味や力に合わせて取り組むものです。

　全教科で、教師が準備学習の内容を生徒に提示することを原則としていますが、具体的な内容は、教科や単元によって様々です。例えば、「次の授業で取り扱う教科書の部分を読んで、よく分からなかったところを、グーグルクラスルームへ送信する」「次の実験の部分を読んで、やり方を自分なりにまとめる」等です。準備学習では、主体的に取り組めるように、「自分で選択する」「生徒に任せられる」内容にしています。

　準備学習を行うことで、授業スタイルは大きく変わってきています。これまでは、教師が授業で新しい内容を教え、習った内容を家庭で復習することが多くありました。しかし、準備学習によって、予習型の「疑問をもって授業に臨む」ような主体的な学習スタイルに近づいています。

　また、授業の導入の時間が短くなったことで、協働学習の時間がしっかりとれるようになってきています。

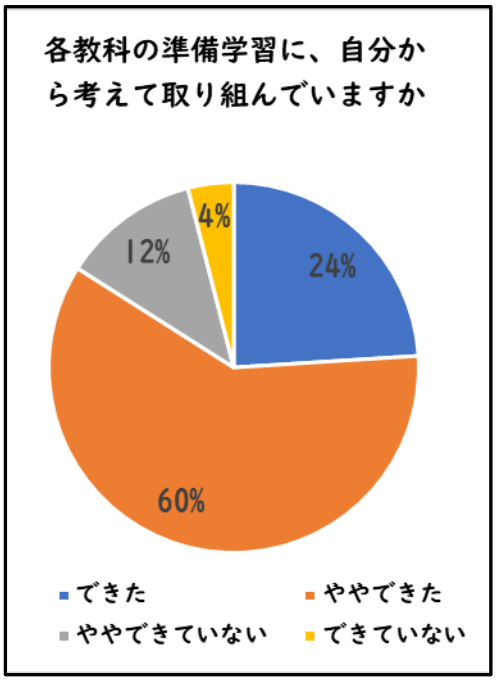
ある日の授業（めあて、準備学習、協働学習、振り返り）

| | |
|---|---|
| めあて | 日本語と英語の俳句の共通点や違いを見つけて話し合おう。 |
| 準備学習 | グループで共有するために、日本語や英語の俳句をタブレットで探してくる。 |
| 協働学習 | 各自が選んだ俳句をグループで共有し、共通点などを話し合う。 |
| 振り返り | 日本語と英語の俳句の共通点や違いに気づき、英語の俳句を作る上での注意点やコツは何だったかなどを書く。 |

| | |
|---|---|
| めあて | 寒い地域の暮らしの特色について説明できる。 |
| 準備学習 | 話し合い活動をスムーズに行うために教科書を読んできて、疑問に思ったことをクラスルームで入力してくる。 |
| 協働学習 | 寒い地域について、協働して調べ学習をする。 |
| 振り返り | MA（メインアンサー）を共有する。 |

生徒アンケート

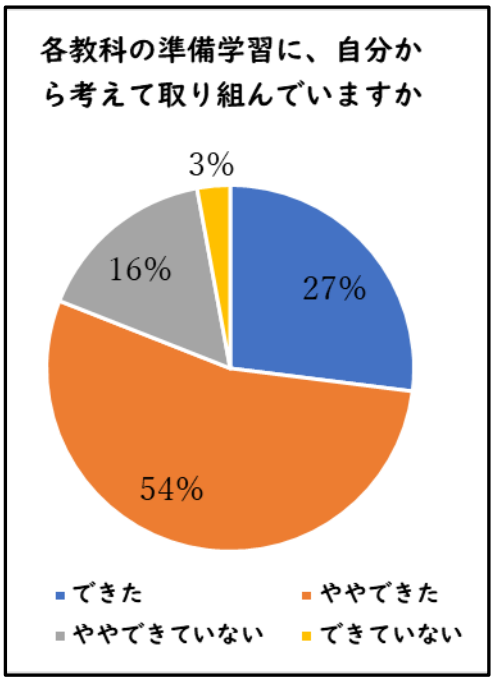
（令和５年６月実施）




〇準備学習の良いところ

・準備学習で疑問に思ったことを授業で理解できる
・少し理解した状態で授業に臨むことができた
・授業の内容が、前よりも分かるようになった
・授業で先生が何を言っているのかわかりやすい
・気になることや興味のあることを調べることができる

（令和６年７月実施）




〇準備学習の良いところ

授業前に準備学習を行うことで、授業への理解が深まり、学習意欲が向上していることが分かりました。特に、自分のペースで学習を進められること、授業でわからない点を事前に把握できること、そして、授業に主体的に参加できるようになった点が大きな効果として挙げられます。また、準備学習は、家庭学習との連携を強化し、より効果的な学習を可能にすることも期待できます。

（生成AIによるまとめ）